

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	胎内市地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
新潟県胎内市	152277	1	平成20年度～平成25年度	平成20年度～平成24年度
活性化計画の区域				
新潟県胎内市区域面積 265.18km(全域)				
胎内市地区活性化計画は、米粉用米の増産と米粉を活用した特産品づくりを促進し、農業の活性化を図ることを目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
①地域産物の販売量の増加(%)	101.66	90.53	89.05	
②地域産物(新規需要米)の販売量の増加(t)	5,024	5,298	105.45	
③地域産物(米粉パン粉)の販売額の増加(千円)	615,300	156,618	25.45	
④地域産物(米粉麺)の販売額の増加(千円)	715,302	715,697	100.05	

(コメント)

①地域産物(米粉)の販売量の増加(t)について

米粉の需要拡大を推進した結果、若干ではあるが目標値を達成することができなかった。小麦粉との価格差等が要因で目標値は下回ったが米粉製品の主な新規開拓先としては、大手コンビニエンスストアや県内外などの学校給食への導入により需要先の確保に努めた。また、同事業で整備された施設での利用や県内の大手米菓メーカーとの取引が開始された。

②地域産物(新規需要米)の販売量の増加(t)について

調整水田等の有効活用を図るため、新規需要米(米粉用米)の作付により水稻栽培と同様な管理で推進することができ、また付加価値を高める手段として栽培管理に関する要件を設定し独自の取組を実施した。なお、平成20年度の新規需要米(米粉用米)の生産量は63tであったが、平成25年度では1,023tの増産となり生産拡大が図れた。また、計画目標値(5カ年)での目標値5,024tに対し、実績値5,298tとなり、達成率が105.5%であった。

③地域産物(米粉パン粉)の販売額の増加(千円)について

初年度は、市場での商品の認知度が低く訴求活動及びサンプルの製造が主となり、展示会等に参加し営業活動の強化に努めた。営業展開を図る上で予定する販売価格では商品の採用が困難な為、当初計画の価格設定を15～25%程度下げることとなった。その結果、目標値を達成することができなかったが、商品の知名度が浸透してきており、着実に販売額が増加傾向にある。

④地域産物(米粉麺)の販売額の増加(千円)について

米粉を使用した商品開発については、米粉と小麦粉の配分割合を変えるなど試行錯誤を繰り返し、品質を安定させる製造方法に時間を要した。米粉麺の販売額については、平成24年度から平成25年度の目標値を715,302千円と設定したところ実績値が715,697千円となり目標値を達成した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物処理加工施設	米粉処理加工施設(鉄骨造2階建て 折板鋼板葺き原料倉庫・製品倉庫併設 最高高さ13.8m 延床面積3,326.0㎡・排水処理施設 鉄筋コンクリート造平屋建て 建築面積288.23㎡)		新潟製粉株式会社
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
新潟製粉株式会社	平成20年度	平成21年度	平成22年3月19日
事業の効果			
新規需要米(米粉用米)を安定的な取引を推進するため胎内市農業協同組合と契約を締結している。これにより生産数量目標も達成しており、農地の有効活用にも繋がっている。また、市内飲食店や菓子店に米粉が普及し、商品化されるなど米粉関連のイベントも開催され、地域の活性化に貢献している。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
乾燥調製貯蔵施設	カントリーエレベーター増設工事(鉄骨造1階建て建築面積33.51㎡・サイロ300t×5基 鉄骨造高さ30.17m)		胎内市農業協同組合 (中条町農業協同組合)
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
胎内市農業協同組合	平成21年度	平成21年度	平成22年3月20日
事業の効果			
米粉用米の生産拡大は、日本の食糧需給率向上対策の一つとして位置づけられており、この事業により胎内市の水田農業の活性化と交付金等により生産者の所得確保も図られた。そのほか、米粉の生産普及にいち早く取り組むことができたため、米粉と地域の食材を活用した特産品づくりが促進された。また、米級グルメの祭典実行委員会が中心となり農商工連携により米粉を活用したご当地グルメとしての事業が展開された。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物処理加工施設	米粉パン粉製造施設(鉄骨造1階建築面積442.81㎡延床面積408.29㎡、排水処理施設鉄筋コンクリート造平屋建建築面積12.54㎡、延床面積12.54㎡)		株式会社 タイナイ
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
株式会社 タイナイ	平成21年度	平成21年度	平成22年3月30日
事業の効果			
米粉商品の生産体制が整備され、消費者に対して安定供給が構築された。また、事業開始により、雇用創出が図られ商品の原料となる米粉の使用により、地域農業の活性化が図られた。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
新規需要米生産製造連携支援	米粉パン粉の製造方法に伴う製造施設での生産ラインの調整、試供品の原材料及び製造過程における技術指導		株式会社 タイナイ
管理主体	事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
株式会社 タイナイ	平成21年度	平成21年度	平成22年3月30日
事業の効果			
米粉の機能性を生かした米粉100%の米粉パン粉及びパンの製造方法を取得することができ、整備した施設においてはその製造技術を活用し、商品の安定生産体制が図られた。また、生産された商品は小麦アレルギーに対応した食品として開発することができた。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物処理加工施設	米粉麵製造施設(鉄骨造2階で 建築面積2,703.74㎡・延床面積4,107.61㎡ 排水処理施設 鉄筋コンクリート造 建築面積45.39㎡)		株式会社 小国製麵
管理主体	事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
株式会社 小国製麵	平成23年度	平成24年度	平成25年3月26日
事業の効果			
米粉を原料した多種多様な商品の生産により、消費者に対して商品の選択肢が広くなり安定供給体制が整備された。また、商品の原料となる新規需要米(米粉用米)の生産拡大により地域農業の振興と特産品の開発、雇用の拡大により地域の活性化が図られた。			

### 3 総合評価

(コメント)
①地域産物の販売量の増加(t)について 達成率は下回ったが、地域の水田には稲を作付する本来の姿の実現化と合せ生産調整も推進され、農業振興の活性化が図られた。
②地域産物(新規需要米)の販売量の増加(t)について 地域の水田を最大限に活用し、円滑な生産調整が推進され新規需要米(米粉用米)の生産拡大により、地域農業の振興が図られた。
③地域産物(米粉パン粉)の販売額の増加(千円)について 操業開始時は、米粉を使用した新規商品である為、試行錯誤により商品化された。商品化されたものの市場での認知度が低く、商品の特徴等(小麦アレルギーに対応した商品)の普及推進に時間を要した。今現在は流通先の確保が図られており、出荷量及び販売額が増加傾向にある。
④地域産物(米粉麵)の販売額の増加(千円)について 米粉を活用した商品(米粉麵)の量産体制を構築することができ、消費者に対して安定した商品の供給が確保された。また、消費者が求める多種多様な米粉麵の商品開発により新たな地域ブランドの形成が図られ、地元での雇用拡大により地域の活性化に繋がった。

### 4 第三者の意見

(コメント)
胎内市では米粉は、全国に先駆けて「米粉発祥の地」として地域の特産品の一つとして位置付けられており、米粉を通じて地域活性化に取り組んでおります。
今回の事業で各施設が整備されたことにより、新規需要米(米粉用米)の生産拡大に繋がり、水田の有効活用による遊休農地増加の抑止及び、安定した農業所得の確保など農業振興の活性化が図られております。
今後、米粉需要の増加に伴い、流通体制の強化を図るとともに胎内市の主要産業として確立され、更なる農業振興の活性化に期待したい。
胎内市農業委員 会長 花野 隆雄